

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム  
派遣先機関等利用マニュアル

2012年 10月 21日

派遣者氏名（専門分野）	林 葉子 （ 女性史 ）
-------------	--------------

派遣期間	2012年 7月 20日 ～ 2012年 9月 20日
------	-----------------------------

**派遣研究機関**

国	都市	訪問機関
イギリス	ロンドン	The Women's Library (London Metropolitan University)

**利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）**

The Women's Library は、現在、London Metropolitan University の敷地内にあり、最寄りの駅から近い。入口を入ったところのグラウンドフロアの受付で利用申請を行う。予約は必要ないが、本図書館のホームページで既に発表されているとおり、今後、図書館の管理者や利用条件が変更される可能性があるため、注意が必要である。

利用申請時には、図書館に入館するたびに身分証を提示する。図書館カード等は発行されないため、利用申請手続きが毎回必要である。身分証としては、パスポートも使えるが、図書館を使用している間、その身分証を受付に預けておく必要があるため、パスポート以外の身分証（日本で発行された健康保険証などでも可）も一緒に持っていき、パスポート以外の身分証の方を預けるほうが良い。受付の人の話によれば、パスポートは、あまりに大切なものなので、できるだけパスポート以外の身分証を預かるようにしている、とのことである。

閲覧室への入室の際には、基本的には、すべての荷物を地下にあるロッカーに預ける必要がある。ただし、ノートパソコンや筆記用具（ペンの使用は不可、鉛筆は可）等は、閲覧室に持ち込める。ロッカーを使用するには1ポンドのコインが必要である（使用後に返却される）。閲覧室へ入室する時には、利用申請の時に手渡される専用のカードキーを使用する。閲覧室内でのカメラの使用は認められているが、撮影は有料で、撮影枚数等に制限が設けられているので、文字情報については、自分のノートパソコンを持ち込んで入力している人が多い。閲覧室には、10名程度が使用できる閲覧用の机がある。その机には電源用のコンセントがあるので、ノートパソコンを使う際に便利である。

閲覧室には、開架図書の本棚もあるが、本図書館は閉架の資料が充実している。資料の目録にはインターネットのホームページからアクセスできるので、事前に調べておくのが望ましい。閉架資料の請求は、閲覧室内の受付で行う。その請求の際には、受付に置いてある専用の用紙に必要事項を記入して提出する。閉架資料の請求後、受付で資料を受け取るまでには30分ほど時間がかかることがあるので、時間の余裕を持って入館する必要がある。

閉架の資料は、専用の箱に入っている。その箱の中の資料を閉館までに調査しきれなかった場合は、その箱を、次回の調査日までの間、返却せずに閲覧室の受付の近くの棚に仮置きしてもらうことが可能である（そのようにして閉架資料の請求のためにかかる時間を節約できる）。